

別記様式第8号（規格A4）（第9条関係）

平成29年7月7日

群馬県知事 殿

〒373-0815 太田市東別所町 427-44

特定非営利活動法人北関東医療相談会

代表理事 後藤裕一郎 印

電話番号 080-5544-7577

Fax 0276-46-4462

事業報告書等提出書

下記に掲げる前事業年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法（以下「法」という。）第29条法第52条第1項（法第62条において準用する場合を含む。）の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の規定により、提出します。

記

- 1 前事業年度の事業報告書
- 2 前事業年度の活動決算書
- 3 前事業年度の貸借対照表
- 4 前事業年度の財産目録
- 5 前事業年度の年間役員名簿
- 6 前事業年度の末日における社員のうち10人以上の者の氏名（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）及び住所又は居所を記載した書面

注1 この提出書には、上記の提出書類各2部（法第52条第1項[法第62条において準用する場合を含む。以下同じ。]の規定により非所轄法人が提出する場合は、各1部]を添付すること。

2 特定非営利活動に係る事業のほか、その他の事業を行う場合には、活動計算書を一つの書類の中で別欄表示し、また、その他の事業を実施していない場合は脚注においてその旨を記載する。

3 5の書類は、前事業年度において役員であったことがある者全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿をいう。

4 2以上の都道府県の区域内に事務所を設置する認定特定非営利活動法人又は仮認定特定非営利活動法人が法第52条第1項の規定に基づき、所轄庁以外の関係知事に提出する場合には、提出先の団体が定めるところによること。

平成 28 年 度 事 業 報 告 書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人北関東医療相談会

1 事業実施の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業の結果

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定/計画人数
健康診断事業	無料健康相談会 医療相談会	6 月 12 日	太田市	70 人/50 人	78/50
	同上	9 月 25 日	宇都宮市	60 人/50 人	31 人/40
	同上	11 月 6 日	清瀬市	100 人/60 人	41 人/50
	同上	11 月 20 日	取手市	90 人/50 人	28 人/40 人
	同上	平成 28 年 1 月 31 日	川口市	90 人/50 人	61 人/60
	合計	5 回/予定 4 回	5 県/4 県	410/260 人	239 人/240 人

<結果>

- ① 平成 28 年度の当会の活動は、19 年目に入り各方面から評価をしていただいた反面、反省しなければならないことも多くありました。
非正規滞在者の抱える生活問題の中で、特に医療の問題は大きいということが改めて認識された年であったと思います。一年間に 4 回の無料健康診断会から 5 回と増えてきていること、対象者は仮放免者へとシフトしても受診者数はあまり変わらないこと、医療相談支援では、保険の無い人への支援要請が増えてきていることがあげられます。
海外での排外主義の横行、自国優先主義の台頭は、グローバル化への不信感を感じます。とりわけ無料健康診断会にくる外国籍住民に限るのかもしれませんが増々厳しさを感じます。
こういった社会環境下において、当会が 19 年に渡る医療支援、とりわけ無料健康診断会及び報告会の活動が継続できたことに深い意義が感じられた一年でした。
- ② 平成 28 年度は、群馬県では国際交流という見地から、東京弁護士会は「認定されない難民生活者」とした非正規滞在者の存在を認め、特に仮放免者に対する生活、医療支援の欠陥を認めたことに意義があったのではないかと思います。
- ③ 事業としては、年間予定数を上回る 5 会場で実施することができました。ただし、平成 28 年一年を通じると 6 回におよび、2 ヶ月に一度は無料健康診断会を実施しました。しかし受信者の数が 4 回の目標と同じ 239 人だったことには、もう少し受信者の掘り起こしをしても良かったのではないだろう

かと考えさせられました。しかしながら北関東 4 県から東京を含めた 5 県への活動が出来たことは今後の活動に広がりを感じます。

- ④ 反面、経済的な余裕や、事務局体制の脆弱さが表面化し、事務局長・会計及び補助員の対応といった数人の体制しか組めなかったことは、反省しなければならないと思いました。
- ⑤ 年間 5 回の医療相談会を実施するには、その費用の確保が必要不可欠であると同時に、助成金の収入は増えてはいるものの、従来の会員会費は逆に減少していることが課題であると思います。
- ⑥ 経済基盤は、事務局体制を強化するにも事務職員を雇用するには、厳しい状況です。今期は、是非とも経済基盤の確立を目指す必要があります。

(2) 医療相談事業

事業目標：年間 30 人 結果：平成 28 年度 33 人

①大腸癌検査 (P 人) 仮放免者

初期相談 第 37 回 太田会場 熊谷市 S 病院

本人からの告知として黒い便があるとのことで、受診者自宅近くの無料低額診療の病院にて大腸がんの内視鏡検査を実施、異常はなかった。

②乳癌検査 (F 人) 仮放免者

初期相談 第 40 回 清瀬会場 三郷市 K 病院

子宮がんの検診と同時に、胸にしこりがあるとのことで近隣の無料低額診療の病院に依頼し確認した。特に問題はなかった。

③下肢静脈瘤 2 人 (内 1 人エコノミー症候群)、(日系 B 人) 有保険者 言語困窮者

③-1 初期相談 第 37 回 太田会場

医療相談会の前日にブラジルより帰国、医師が一目で下肢静脈瘤と判断し入院を薦め、後日、連絡確認したところ緊急手術が終わった直後で一命をとりとめたこと。

③-2 初期相談 東京 CITIC からの依頼事項 (B 人) 仮放免者 千葉県 T 病院

祖国の内戦で国を捨ててきたとのこと、家族が目の前で殺されショックで記憶があいまいであることなどから難民認定されなかった。日本に来てから教会員の支援で生活、下肢静脈瘤は以前からあり治る見込みがなく当会で本人居住地近くの無料低額診療の病院に依頼し手術を実施した。

④尿道狭窄症

初期相談 弁護士より相談 S 人 仮放免者 埼玉県 S 病院

子供のころからの尿道狭窄症。母国では営業関係の仕事をしており宗教はイスラム教、同性愛の疑いをかけられたため、ワールドカップを機に日本に入国、その後難民申請し仮放免となる。尿道狭窄症のため体調が変調するので当会への相談となった。当初、会員クリニックへ連れて行ったが近くの病院で手術を前提とした検査を実施する。結果は、尿道拡張をしていたほうが手術より経費が抑えられるとのこと、手術は大手病院でなければならず現状は尿道拡張治療で行うこととなった。

⑤頸椎症性脊髄症

⑤-1 初期相談 第 37 回太田会場 仮放免者 I 人 千葉県立病院 社会保険取得

平成 28 年太田会場に千葉県から来た。すぐに手術が必要であることはわかったが当初保険もなく頸

椎症では費用が掛かりすぎるので、とりあえず東京都 J 病院に精密検査を依頼した。すぐに手術の必要性があったが手術費はない、しかし彼の妻が社会保険に入っていたので会社の保険に扶養としての嘆願書を当会と弁護士で書き、扶養となることができた。現在千葉県内の病院で手術の打ち合わせを続投中。

⑤-2 初期相談 第37回太田会場 仮放免者 P人 栃木県 K 病院

平成 28 年太田会場に栃木県 A 市から受診、頸椎症にて同市 A 病院で診察、CT 検査を行った。その後同国支援者によって通院支援がされた。

⑥技能実習生の労災事故 1 人、

初期相談 カトリックオープンハウスから オーバースティの技能研修生 V 人 名古屋 T 病院
作業中に鉄パイプを左足親指に落下骨折したとのこと、その後関東を転々としてさいたま教区 A 教会にたどり着く。オープンハウス会員から当会に連絡が入る。東京高田馬場当会会員クリニックへ診察依頼、ひまわり診療所から東京労働安全センター及び東京 CITIC へとつながり在留期間延長と労災手当を受給、昨年 12 月に帰国した。

⑦風邪 1 人、

初期相談 電話相談 仮放免者 東京 E 病院

風をひいたがお金がないとのことで居住地近くの E 病院に依頼し無料低額診療にて対応した。

⑧ 結核疑いと経過観察 1 人、

初期相談 第37回太田会場 仮放免者 P人 太田 K 病院

太田会場にて胸部 X 線で肺結核の痕跡があるとの結果、再検査と経過観察を実施し、現在経過観察中である。

⑨十二指腸潰瘍

初期相談 電話相談 群馬県 O 町 日系 B 人在留資格あり 太田 K 病院

電話相談でお腹がいたい、お金が無い、食べ物が無いと訴えてきた。相談者の友人が通訳として対応、近隣の病院の紹介状が有るとのこと大泉町役場に連絡し、当会が治療費、役場が通訳者と車を手配した。国民健康保険が未払い状態だったので一時的に使用できるようにしてもらい費用が少なくなった。特に大きな問題は無く薬を投与して終了した。一時金と食料としてお米の支援を行う。

⑩視力障害 1 人、

初期相談 第37回太田会場 仮放免者 N人 前橋 K 病院

左目が見えなくなったという症状、前橋協同病院にて診察し眼科的には特に問題はないとするも群馬大学にて総合的な検査が必要ではないかとのこと。以降、群馬大学での検査費用をどうするかが課題となり保留中。尚前橋 K 病院は無料低額診療にて対応する。

⑪精神的訴え 2 人、

⑪-1 初期相談 宇都宮会場 P人 済生会 U 病院

当初、ひざの関節痛の訴えで受信。家庭内暴力によるうつ症状と本人の在留資格の問題を訴えてきている。現在は入管に収容となっている。

⑪-2 初期相談 電話相談と宇都宮会場 Q人

離婚問題を発端に子供の親権問題となる。無料健康診断の結果について、受診者自身の引っ越しによっ

て住所不明となり検診結果が未着となっている。また精神的な問題もあることが判明。現在スペイン語堪能な医師と時期を見て相談することになっている。

⑫C型肝炎

初期相談 平成27年からのC型肝炎 S人 栃木県A市クリニック

初期のC型肝炎として受診、現在は昨年より引き続きウルソ錠による肝臓保護治療に専念している。各月の薬代金支援。

⑬糖尿病薬代金

初期相談 平成27年太田会場から P人 仮放免者 太田K診療所

糖尿病で診察と薬代金が不足しているので年間5万円の枠を超えないように薬代金を支援する。日系B人である妻が食料品店を営んでいたが売れないため店を閉じたのでこれからも支援は欠かせない。

⑭胃痛

初期相談 太田会場 J人 仮放免者 所沢

アフリカ地域のフランス語圏のJ人、胃痛のために仮放免となった。所沢市内の病院で受診、実費と薬代を支援。

⑮骨折2件

⑮-1 初期相談 太田会場 B人 非正規滞在者 I太田病院

医療相談会当日に足が痛いと訴えてきた、右足の踵が大きく腫れていたため骨折として近くの病院で診察してもらう。結果は右足骨折と診断された。非正規滞在者で住所不定のため松葉杖を借りることもできなかったが当会が保証人となり一か月間借りた。

⑮-2 初期相談 2014年からの麻薬 弁護士による電話相談 P人 仮放免者 群馬県T町 地域整形病院

子供の時から麻薬による精神病を患う支援者、突然右腕が痛いという連絡があり、たまたま近くの支援者との打ち合わせをしていたので行ってみると腫れていた。触れるだけで痛がること、前日に家に入るときに躓いて転倒し階段に打ち付けたというので早速病院へ連れて行く。結果は骨折であった。家族から見放されている状況であったが家族に連絡し、当会が初期治療、後は家族の支援を行うことで了解した。本人は、入管に相談したところ入管はホテルではないと怒られたとのこと。

⑯うつ病とリュウマチ支援

平成27年からの支援 電話相談 仮放免者 群馬県渋川H病院

うつ病とリュウマチと診断されたH病院で無料低額診療の継続治療を受けていたが、生活困窮となったため個人で支払っていた治療費を支援した。現在は本人が行方不明となっている。家族への支援だけはオープンハウスと共に実施中。

⑰甲状腺手術者の支援

初期相談 平成27年 群馬県I市 I人 仮放免者 群馬大学医学部 社会保険取得

前年度からの支援者、甲状腺腫瘍により生活困難者となった。昨年9月に日本人妻の社会保険取得によって大きく展開が変わり、本年度5月初旬に群馬大学医学部病院にて手術予定であったが7月以降とした。当会は生活支援と治療費支援を行ってきた。

⑱大腸がんの初期検査費用

初期相談 2014 年からの支援 弁護士からの電話相談 K 人 仮放免者 茨城県立中央病院
一年前の初期検査費用の未払い金の精算。現在本人は住所不明となっている。すでに大腸がんの宣告を受けて 1 年以上となり、相当深刻な状況になっているので本年 3 月に思い当たるところを探すも不在であった。

⑲糖尿病と高血圧への治療費 2 名

初期相談 平成 28 年茨城県取手会場 F 人夫婦 仮放免者 取手市 A 診療所
茨城県の医療相談会で慢性型の糖尿病と高血圧の診断。とりあえず 3 か月単位での支援を実施する。夫婦ともに仮放免者なので共に対応する。検査費用は診療所で無料低額診療、薬代金については当会が支払うこととした。

⑳風邪の治療

初期相談 平成 28 年 茨城県取手会場 S 人 仮放免者 取手市医師会病院
初めて茨城県で行われる会場に来る予定であったが、ひどい咳と頭、鼻が痛いとのことで常総市の住宅に迎えに行き取手市医師会病院で診察を受ける。当初、副鼻腔炎の疑いもあったがとりあえず一件落着した。

㉑原因不明の胃痛

初期相談 平成 28 年 埼玉県川口会場 N 人 仮放免者 埼玉協同病院緊急外来
当会には初めて来場、待機している間にひどい胃痛を発症した。すぐに埼玉協同病院にて緊急入院して CT、血液検査等を行うが特に問題がなく、しばらくすると落ち着き紹介状を持たせ帰宅させる。たまたま難民支援協会の支援者がいたので途中まで同行してもらった。検査費用は当会で支払う。

㉒膝の関節痛

初期相談 平成 28 年電話相談 P 人 仮放免者 つくば S 病院
ひざ痛とのことなので居住地域病院で診察、治療費は当会で支払う。

㉓原因不明の痛み

初期相談 平成 28 年 9 月 仮放免者 I 人 栃木県 A 市クリニック
協力病院より難民支援協会からの依頼事項としての支援要請。
地域病院に会員クリニックがあり対応した。胸部 X 線等の診察を行うも、特段異常は無く生活支援を行い半年後に経過を医療相談会でみることにした。

㉔原因不明の腹痛

初期相談 平成 28 年 5 月 I 人 非正規滞在者 群馬県 O 町 栃木県足利市日赤病院
突然胃痛が起こり、痙攣をおこすほどであったので協力会員診療所で対応したが対応できず、医療通訳を「群馬言語と医療の会」に依頼、足利日赤病院で診察したが主たる原因は不明。

㉕流産

初期相談 平成 28 年 5 月 I 人 非正規滞在者 群馬県 O 町 栃木県 A 市クリニック→足利日赤病院

I 人女性、腹痛を訴えていると連絡が入り、会員クリニックで診てもらったところ妊娠しているとのこと、そこは婦人科ではないので足利日赤病院で受診した。すでに流産は終わり、安静にしていれば良いとのことであった。

②⑥ 出産支援 2 件

②⑥-1 日本人出産支援 シングルマザー

平成 27 年からの支援、3 月に市の社会福祉課に連れて行き生活保護の申請をする。その足で市内の保健施設へ行き保健師と対応する。その後出産支援を行う。

②⑥-2 K 人 シングルマザー 仮放免者 平成 28 年 3 月末

本人の訴えは、仮滞在から仮放免となり売春をしながら生活費を充当していたがお腹が痛いというので内科の病院へ行くと妊娠していることが判明したとのこと。現在、O 市とも連携し取組中。

②⑦ K 人 仮放免者 歯痛 川口市 仮放免者

歯が痛いとのことで相談、日本人の夫がいたので聞くと社会保険を持っていたので、すぐに扶養の手続きを行うように依頼した。また当会からも会社に保険に入れるように依頼した。後日社会保険に入ることが出来たとの連絡があった。

②⑧ 病院からの相談 川口市 仮放免者

病院からの相談で、本人の兄が在留資格を持っている外国籍女性と結婚しているがその扶養親族として社会保険が取得できるかと相談。その後社会保険を取得し治療したとのことであった。

<結果>

医療相談事業については概ね、想定以上の支援ができたように思えます。反面、経費は大きく膨らみ前年の 110%増の 33 人になっています。

支援していて、夫婦若しくは同居人に社会保険取得者がいると扶養親族として社会保険に加入による、治療が導けることが可能であったことは大変助かりました。本年度は 5 人に支援ができました。特に手術にかかわる費用に全て社会保険を使えることがわかったのが大きな収穫でした。

当会は定款に「すべての人が健康と平和な生活ができる共生社会の実現をめざし、特に外国籍・生活困窮者の為の保健、医療又は福祉の増進を図る活動、社会教育の増進、災害救護、人権の擁護、国際協力などの活動を目的とする。」と掲げていますので段階を追って体制強化をしていきたいと思えます。

活動の支援体制では、栃木県と群馬県では支援者は 2 人、神奈川県では 1 人、埼玉県 2 人、茨城県 2 人等、他協力団体の支援者が増えていることを心強く感じます。

経済的には、本年は、日本国際協力システム JICSNGO、みずほファイナンシャルグループの支援には助かりました。これによって治療費とそれに対する支援の枠組みをつくることができました。今年度は前年度より一人でも多く支援が出来れば良いのではないかと思います。

以上

(3) 社会的事業の結果 予定年間 4 回 各県 1 回実施

	講演会名	日時	場所	参加人員	講師等
①	共生社会の第一歩	平成 27 年 6 月 25 日 (土) アジアを考える静岡フォーラム	静岡市	30 人 医師、弁護士、宗教者	講師：長澤正隆
②	群馬県における外国籍住民の生活	8 月 31 日 (土) 当会主催	太田市	40 人 群馬県庁職員、会員	講師：後藤裕一郎、 長澤正隆
③	「とらわれ人のための聖年」牛久入管被収容者について (牛久の友の会)	9 月 19 日 (月・祝) カトリック伊勢崎教会	群馬県 伊勢崎市	40 人 カトリック団体、信徒	講師：長澤正隆 ：加藤健司
④	生活困窮者ネットワーク	11 月 14 日 (月) 済生会川口病院主催	川口市	80 人 地域行政	講師：長澤正隆他
⑤	子供の貧困は誰のせい	11 月 19 日 済生会宇都宮病院主催	宇都宮市	200 人 済生会関係 地域行政者	講師：長澤正隆他
⑥	「非正規滞在者の医療問題」-NP0 北関東医療相談会の活動から-	12 月 5 日 (月) 日本弁護士会館	東京都	80 人 弁護士、医師、支援団体他	講師：長澤正隆他
⑦	平成 28 年年次活動報告会 (牛久入管収容所問題を考える会) 北関東医療相談会の活動について	平成 28 年 12 月 25 日 つくばイノベーションプラザ	つくば市	70 人 弁護士、仮放免者、支援団体	講師：加藤健司
⑧	外国籍・生活困窮者支援の現状について	20017 年 2 月 18 日	前橋市	25 人	講師：長澤正隆
		8 回	6 県	565 人	

<新聞報道関係>

- ① 群馬県 国際交流賞 <http://www.pref.gunma.jp/04/c3600007.html>
- ② 東京弁護士会 人権賞 http://www.toben.or.jp/message/libra/pdf/2017_01/p28-29.pdf
- ③ 朝日新聞 人権賞 <http://www.asahi.com/articles/DA3S12702610.html>
- ④ 朝日新聞 茨城県 <http://www.asahi.com/articles/ASJCQ0H6TJCPUBQU015.html>
- ⑤ ネットワーク 4 月 1 日号 川口市周縁の外国籍住民の実態について
- ⑥ 上毛新聞 6 月 18 日 太田医療相談会
- ⑦ 東京新聞 8 月 26 日 医療相談会学習会 外国籍住民の生活

- ⑧ 上毛新聞 8月28日 同上
- ⑨ 週刊金曜日 10月7日 宇都宮医療相談会
- ⑩ キリスト新聞 11月12日 北関東医療相談会
- ⑪ 東京新聞 11月5日 清瀬医療相談会
- ⑫ 下野新聞 11月20日 生活困窮者シンポジウム
- ⑬ 朝日新聞 11月22日 取手市医療相談会
- ⑭ 毎日新聞 11月22日 群馬県国際交流賞
- ⑮ 上毛新聞 11月22日 同上
- ⑯ 朝日新聞 12月13日 東京弁護士会 人権賞
- ⑰ 上毛新聞 平成28年1月25日 東京弁護士会 人権賞
- ⑱ さいたま新聞 平成28年2月12日 川口医療相談会

特別報告

- ① 群馬県国際交流賞 平成28年11月21日 前橋市

授賞理由：生活に困窮し健康問題を抱える在住外国人に対する無料の医療相談会を定期的に開催し、母国語による検診や検診結果の説明などの支援を行い、多文化共生の推進に貢献しています。

- ② 東京弁護士会・人権賞 平成28年1月11日 東京都

1997年6月1日から活動を開始。「すべての人が健康と平和な生活ができる共生社会の実現をめざし、特に外国籍・生活困窮者の為の保健、医療又は福祉の増進を図る活動、社会教育の増進、災害救護、人権の擁護、国際協力などの活動」を目的とし、2013年3月26日に「特定非営利活動法人 北関東医療相談会」となる。

授賞理由：群馬県・栃木県・埼玉県を中心に、日本で暮らす生活困窮者、特に外国籍の生活困窮者を対象に、無料の医療相談会を継続的に実施している。各地のボランティアの協力のもと、多くの受診者があり、医療からはじかれている人々の命の最後のセーフティネットとなっている。この相談会では、地域のフードバンク等とも連携して食糧支援が行われ、また、弁護士による法律相談も併設されている。平成28年には東京都においても相談会が実施された。

近年は、難民申請中の仮放免の外国籍生活困窮者の支援を積極的に行っている。仮放免者は概ね健康上の理由で身柄の拘束を解かれるが、労働の制限が加えられる。しかし、生活上の保障はなく、健康保険の適用もない。仮放免者という国内に存在する「認定されない難民生活者」に光をあて、「すべての人が健康で平和な生活ができる共生社会の実現」に寄与している。

<結果>

- ・社会的事業では、当会が計画したものとして年1回の学習会と4回の後援会をし、結果として年間8回の講演会をすることができました。
- ・結果として年間8回、6県、参加者565人となり、参加者は弁護士、医師、支援団体、社会福祉士、支援センター、教会関係者、社協、県会議員、同じ支援団体等でした。各々、現場で活動している方々なので互いに理解が早く良かったという印象でした。

法人名: NPO法人北関東医療相談会

活動計算書

28 年 4 月 1 日 ~ 29 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目		金 額		
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	583,121			
賛助会員受取会費	5,000	588,121		
2. 受取寄付金				
受取寄付金	684,110			
資産受贈益				
施設等受入評価益		684,110		
3. 受取助成金等				
受取民間助成金	3,840,000			
受取公的助成金	653,000	4,493,000		
4. 事業収益				
A事業収益				
B事業収益				
C事業収益			0	
5. その他収益				
受取利息	53			
雑収益	521,940	521,993		
経常収益計				6,287,224
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給与手当				
福利厚生費				
人件費計	0			
(2) その他経費				
印刷製本費	58,610			
諸謝金	111,000			
旅費交通費	1,524,276			
消耗品費	110,668			
雑費	201,770			
検査費	672,280			
会議費	454,525			
生活支援費	275,685			
支払手数料	1,512			
郵送費	75,782			
医療支援費	570,632			
傷害保険	20,250			
会費	9,000			
その他経費計	4,085,990			
事業費計		4,085,990		
2. 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	300,000			
人件費計	300,000			
(2) その他経費				
通信費	162,463			
印刷製本費	200,678			
旅費交通費	450,237			
消耗品費	319,693			
雑費	117,562			
会議費	195,788			
業務委託費	42,480			
支払手数料	4,776			
交際費	89,866			
郵送費	111,071			
家賃	600,000			
自動車諸費	600,000			
その他経費計	2,894,614			
管理費計		3,194,614		
経常費用計				7,280,604
当期正味財産増減額				△ 993,380
前期繰越正味財産額				1,343,189
次期繰越正味財産額				349,809

法人名： NPO法人北関東医療相談会

貸借対照表

29 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	349,809		
流動資産合計		349,809	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			349,809
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,343,189	
当期正味財産増減額		△ 993,380	
正味財産合計			349,809
負債及び正味財産合計			349,809

法人名： NPO法人北関東医療相談会

財産目録

29 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	30,394		
郵貯銀行当座	6,858		
郵貯銀行	9,353		
みずほ銀行	37,083		
群馬銀行	0		
ゆうちょ銀行(会費・寄付金)	266,121		
流動資産合計		349,809	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			349,809
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			349,809

法人名：NPO 法人北関東医療相談会

財務諸表の注記

- 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によって
 - 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
 - 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の」
 - ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。
 - 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
- 事業別損益の状況
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	健康診断事業	医療相談事業	社会教育事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
前期繰越正味財産額				0	1,343,189	1,343,189
1. 受取会費				0	588,121	588,121
2. 受取寄付金				0	684,110	684,110
3. 受取助成金等	2,467,105	1,334,650	284,235	4,085,990	407,010	4,493,000
4. 事業収益				0	0	0
5. その他収益				0	521,993	521,993
経常収益計	2,467,105	1,334,650	284,235	4,085,990	3,544,423	7,630,413
II 経常費用						
(1) 人件費						
役員報酬				0	300,000	300,000
消耗品費				0	0	0
人件費計	0	0	0	0	300,000	300,000
(2) その他経費						
印刷製本費	28,916	100	29,594	58,610	200,678	259,288
旅費交通費	977,001	415,416	131,859	1,524,276	450,237	1,974,513
消耗品費	98,715		11,953	110,668	319,693	430,361
諸謝金	54,000	2,000	55,000	111,000		111,000
雑費	200,570	1,200		201,770	117,562	319,332
検査費	666,286	5,994		672,280		672,280
会議費	375,893	58,619	20,013	454,525	195,788	650,313
生活支援費		275,685		275,685		275,685
支払手数料	1,512			1,512	4,776	6,288
郵送費	43,962	5,004	26,816	75,782	111,071	186,853
医療支援費		570,632		570,632		570,632
傷害保険	20,250			20,250		20,250
会費			9,000	9,000		9,000
通信費				0	162,463	162,463
業務委託費				0	42,480	42,480
交際費				0	89,866	89,866
家賃				0	600,000	600,000
自動車諸費				0	600,000	600,000
その他経費計	2,467,105	1,334,650	284,235	4,085,990	2,894,614	6,980,604
経常費用計	2,467,105	1,334,650	284,235	4,085,990	3,194,614	7,280,604
当期経常増減額	0	0	0	0	349,809	349,809

前期繰越金の変更について
前期2015年決算書では繰越金は2,191,319円でしたが、当期の4月から6月の間、
個人の留保金が会計に計上される等の会計引継ぎ上の相違により、
期末計上分費用の資金移動が848,130円あることがわかりましたので、1,343,189円に修正いたしました。

役員報酬について
2016年度収支予算書において(管理費)事務局長活動費を費目設定いたしました、
収支が不明確なため、(人件費)役員報酬に変更いたしました。
なお、年間650,000円以内であれば税務署の届け必要なしです。

法人名：NPO 法人北関東医療相談会

監査報告書

2017 年 5 月 2 日

特定非営利活動法人 北関東医療相談会

代表理事 後藤裕一郎殿

特定非営利活動法人法第 18 条に沿って、特定非営利活動法人の 2016 年度（2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで）の事業報告書、及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び活動決算書）について監査をおこないました。監査の結果、法人の業務は法令及び定款、2016 年度の活動方針、事業計画に基づき適正に処理されているものと認められました。また法人の財産の状況は、NPO 法人会計基準に準拠して、財務諸表等に適正に表示されているものと認められました。

監査 坂詰 稔 印 

監査 鈴木 美恵子 印 

年間役員名簿

(前事業年度において役員であった者の氏名及び住所並びに各役員についての報酬の有無)

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人北関東医療相談会

役職名	氏名	住所又は居所	就任 期 間	報酬 の 有無
理事	後藤裕一郎		平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 31 日	無
理事	黒澤みち子		同上	無
理事	長澤正隆		同上	無
理事	河野順子		同上	無
理事	塚本 巖		同上	無
理事	飛鷹昭夫		同上	無
理事	山口富三		同上	無
理事	矢中幸雄		同上	無
監事	坂詰未来		同上	無
監事	鈴木美恵子		同上	無

(法第28条第1項関係様式例)

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人

	氏 名	住所又は居所
1	長澤和子	
2	水野昌子	
3	宮島孝之	
4	大森いくえ	
5	塩谷デヴィナ	
6	二見光子	
7	塚本あけみ	
8	本郷秀崇	
9	柿崎みどり	
10	天田エリ	

(備考)

- 1 時点は前事業年度の最終日を記載する。
- 2 「氏名」欄には、法人にあっては、その名称及び代表者の氏名を記載する。
- 3 名簿は、前事業年度の末日現在における社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記載する。

平成 29 年度事業計画書

本年度の予算は次ページのとおりです。

総予算 6370 千円としました。現在は日本国際協力システム、日本財団、大阪コミュニティ財団、群馬県共同募金会は確定しましたが、三井物産、カリタスさいたまは現時点ではこれからの対応となります。

また、昨年度からの会員からの献金は減少していますが年間 130 万円くらいはキープしたいと思っています。

支出について

- ① 健康診断事業について 2442 千円支出の 38.5%を計上しています。企画としては年間 5 回を実施する予定でいます。

群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県、東京都、報告会を含めると果たして実施について 5 回可能かどうかその都度、思案する必要があると思います。

- ② 医療相談事業については 1360 千円 21.3%を計上しています。

前年度は 35 件と前々年を大幅に上回り、支援人員の確保もできてきました。また、無料低額診療制度の活用と理解も進み費用も掛からなくなりましたが、非正規滞在者は増加する傾向にあり対応に苦慮していくと思います。

- ③ 社会教育事業費、予算上は 7.5%ですが昨年は外部依頼を含め 8 回の講演会を実施しました。

今期は、自主学習会を 4 回としています。

尚、前期と同じように外部からの依頼も積極的に活用して学習及び広報活用としたいと思っています。

- ④ 管理費の自動車所費については、個人所有であるのが現状で、NPO 活動しか活用していません。また交通費は医療相談事業、健康診断事業と案分しても良いが、分けようがないので管理費として計上しました。

家賃は、事務局と自宅のスペースを考慮して前年決定したものです。また、事務局長手当は、昨年 8 月より実施していません。

今年の目標は、繰越金を大幅に増やすこととして経費節減にも努めることです。

2017年度収支予算				特定非営利活動法人 北関東医療相談会	(単位:円)
収入	費目	金額	備考		
	繰越金	349,809			
	助成金	0	日本国際協力システム(JICS):医療支援、2016年2月(¥1000000)振込		
	助成金	2,000,000	日本財団:健康診断・社会教育・医療支援		
	助成金	900,000	大阪コミュニティ財団:健康診断		
	助成金	600,000	カリタスさいたま:自動車諸費		
	補助金	830,000	群馬県共同募金会(赤い羽根):群馬県内、健康診断・社会教育		
	民間助成金	300,000	三井物産		
	会費	650,000	会員会費		
	寄付金	750,000	会員寄付金及び一般寄付金		
	事業費総額	6,379,809			
支出	費目	金額	内訳		
	健康診断事業		2,442,000	38.3%	
	使用料	150,000	30000×会場費5か所=150000円		
	委託費	864,000	X線、血液検査費用、子宮頸がん検査、各検査費用 男子1300円×180人=234000円 女子3500円×180人=630000円		
	旅費交通費	700,000	ボランティア及び参加者交通費 @2000円×250人=500000円 レンタカー料金 @40000円×5回=200000円		
	印刷製本費	80,000	チラシ@16円×5回×1000枚=80000円		
	通信費(郵送費)	60,000	チラシ@120円×100部×5回=60000円		
	消耗品費	588,000	各会場昼食費 @800円×120人×5会場=480000円 マスク・袋・アルコール他 108000円		
	医療支援事業		1,360,000	21.3%	
	諸謝金	120,000	10000円×通訳1名×12月=120000円		
	医療相談交通費	240,000	医療相談交通費 @20000円×12月=240000円		
	治療費	1,000,000	診察費 40000円×20人=800000円 薬剤費 10000円×20人=200000円		
	社会教育事業		476,000	7.5%	
	諸謝金	75,000	15000×講師5名=75000円		
	使用料	50,000	10000×会場費5か所=50000円		
	旅費交通費	100,000	スタッフ交通費 @2000円×50人=100000円		
	印刷製本費	96,000	ニュースレター @16円×8枚×3回×250部=96000円		
	通信費(郵送費)	105,000	ニュースレター@140円×250×3回=105000円		
	会議費	50,000	@5000円×10回=50000円		
	管理費		2,055,800	32.2%	
	使用料	10,000	総会会場費 10000円		
	会議費	135,000	理事会@1000円×15人=15000円 事務局@3000円×40回=120000円		
	旅費交通費	800,000	事務局会議交通費@5000円×40回=200000円 自動車諸費@50000円×12月=600000円		
	通信費	188,800	インターネット 5000円×12=60000円 電話料 10400円×12月=124800円 その他 4000円		
	委託費	40,000	ホームページ管理費 40000円		
	家賃	600,000	@50000×12=600000円		
	雑費	50,000	活動保険料 30000円 看護師保険料 @5000×4人=20000円		
	交際費	50,000			
	事務消耗品費	167,000	プリンタインク・トナー他		
	手数料	15,000			
	その他		46,009	0.7%	
	繰越金	46,009			
	事業費総額	6,379,809	合計額OK		

2017年度計画		
実施事業の詳細計画・スケジュール		
実施時期	実施内容	具体的な作業内容
4月		
5月20日	総会	場所 :カトリック小山教会
6月11日	群馬県 太田会場相談会	カトリック太田教会 無料健康診断会・無料法律相談会
7月16日	群馬県 太田会場報告会	カトリック太田教会 無料健康診断結果報告会
8月	群馬県報告会	会場未定
9月	栃木県 医療相談会	済生会宇都宮病院&益子病院 無料健康診断会・無料法律相談会
10月	栃木県 済生会会場報告会	済生会宇都宮病院若しくは普門院診療所 無料健康診断結果報告会
11月	東京都・清瀬市	栃木県報告会会場未定 東京会場無料健康診断会・無料法律相談会
12月	東京都・清瀬市	会場未定 東京会場無料健康診断結果報告会
2018年 1月		
2月	埼玉県 川口会場相談会	埼玉協同病院 無料健康診断会 無料法律相談会
3月	埼玉県川口会場報告会 茨城県取手会場	埼玉協同病院無料健康診断結果報告会 茨城県取手市あおぞら診療所会場
備考		
詳細日程については調整するが詳細は今後決定 尚調整次第であるがあおぞら診療所会場報告会は次年度4月の予定		

特定非営利活動法人 北関東医療相談会 平成 29 年度総会議事録

1,日 時 平成 29 年 5 月 20 日午前 13 時~

2,場 所 カトリック小山教会

住所 〒323-0026 栃木県小山市本郷町 2-2-20

3,出席者数

後藤裕一郎、黒澤みち子、黒澤良雄、塚本巖、飛鷹昭夫、鈴木美恵子、鈴木道義、二見光子、二見修一、飯田保、大川昭博、青木和一、益永陽子、山下雄大、加藤健司、塩谷ヴィング、大森いくえ、天田えり、天田ローランド、長澤和子、長澤正隆

4、開会発議 黒澤みち子副理事

5,審議事項

第一号議案 平成 28 年度 事業計報告及び収支決算に関する件

第二号議案 平成 29 年度 事業計画に関する件

第三号議案 役員及び社員の変更にに関する件

6,議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 開会及び総会成立宣言

会員 115 人(うち委任状による出席者、16 人、
書面又は電磁的方法による出席者、50 人、合計 62 人)
定款 27 条により総会成立した。

(2)議長の選出

議長選出 後藤裕一郎代表理事

提案者 長澤正隆事務局長

書記 長澤和子 塚本巖

(3)議案の審議

第 1 号議案 平成 28 年度 事業報告及び収支決算

総体として無料健康診断会は 4 回のところ、茨城県取手市会場、東京都清瀬市が増え 5 回の開催できたこと、社会的事業は、年間 4 回であったが 8 回実施した。

収入は前年比 148%増であった。支出も前年比 206%増となり厳しい運営となった。しかし、多くの事業が前年を上回り好調で社会のニーズに合っていた。

医療相談事業の拡大と対応について、病院への個人負担の治療費、交通費の負担を軽減に繋がるようにした。

群馬県国際交流賞、東京弁護士会人権賞を受賞できたことは良かった。

長澤事務局長より提案意義無く承認された。

第 2 号議案 平成 29 年度 事業計画及び収支決算

前期より、指摘された経費の個人負担は減らすこと、および長澤事務局長の個人宅の継続使用などの理解を得た。

長澤事務局長より提案意義無く承認された。

第 3 号議案 役員及び社員の変更にに関する件について

役員及び社員から辞めたい旨の報告が来ているので規約等の変更を鑑みながら次期役員と社員を選出していきたい。今期までは 20 年を迎えるのでこのままの陣容で対処したい。

長澤事務局長より提案意義無く承認された。

(4) 閉会

6、議事録署名人選任の件

議事録署名人の選任にしたがい諮ったところ意義無く承認された。

以上この議事録が正確であることが承認された。

2017年7月1日

塚本 巖

長澤和子

平成 28 年までの受診者数

回数	月日	場所	受診者数	備考
第一回	1997 年 6 月 1 日	伊勢崎市公民館	157	
第二回	1998年7月19日	同上	71	
第三回	1999年	同上	60	
第四回	2002年11月10日	太田公民館 東別館	66	
第五回	2003月 9 年21日	同上	62	
第六回	2004年10日 3 月	同上	48	
第七回	2005年10日 2 月	同上	43	
第八回	2006年10月15日	同上	37	
第九回	2007日 3 月 6 年	同上	27	
第十回	2007年11日 4 月	前橋教会	26	子宮頸癌開始
第十一回	2008月 5 年25日	太田公民館 東別館	32	
第十二回	2008年11月16日	前橋教会	20	
第十三回	2008月 3 年15日	高崎教会	50	
第十四回	2009年7日 5 月	太田公民館 東別館	13	
第十五回	2010月 3 年14 日	高崎教会	30	
第十六回	2010年7 月 25 日	太田公民館 東別館	30	
第十七回	2010 年 12 月 19 日	宇都宮市	50	栃木 1 回 白澤
第十八回	2011 年 3 月 14 日	高崎市	中止	東日本大震災
第十九回	2011 年 6 月 19 日	太田公民館 東別館	15	
第二〇回	2011 年 11 月 20 日	宇都宮市	40	栃木 2 回 白澤
第二十一回	2012 年 3 月 11 日	高崎教会	40	
第二十二回	2012 年 6 月 3 日	太田公民館 東別館	30	
第二十三回	2012 年 11 月 11 日	宇都宮市	58	栃木 3 回済生会
第二十四回	2013 年 3 月 10 日	高崎教会	50	
第二十五回	2013 年 6 月 23 日	太田公民館 東別館	39	
第二十六回	2013 年 9 月 8 日	宇都宮市	43	栃木 4 回済生会
第二十七回	2013 年 11 月 10 日	益子町	41	栃木 5 回西明寺
第二十八回	2014 年 3 月 2 日	高崎教会	18	
第二十九回	2014 年 6 月 29 日	太田公民館 東別館	36	
第三十回	2014 年 10 月 5 日	宇都宮市	71	栃木 6 回済生会
第三十一回	2014 年 11 月 30 日	高崎教会	25	
第三十二回	2015 年 3 月 15 日	益子町	12	
第三十三回	2015 年 6 月 28 日	太田公民館 東別館	68	太田会場
第三十四回	2015 年 9 月 13 日	宇都宮市	61	
第三十五回	2015 年 11 月 29 日	高崎教会	27 人	
第三十六回	2016 年 1 月 31 日	川口市	72 人	埼玉県 N e w

回数	月日	場所	受診者数	備考
第三十七回	2016 年 3 月 13 日	益子町	55 人	1623
第三十八回	2016 年 6 月 12 日	太田公民館 東別館	78 人	
第三十九回	2016 年 9 月 25 日	宇都宮会場	32 人	
第四〇回	2016 年 11 月 6 日	清瀬市	41 人	東京都 New
第四十一回	2016 年 11 月 20 日	取手市	29 人	茨城県 New
第四十二回	2017 年 1 月 29 日	川口市	59 人	
第四十三回	2017 年 6 月 20 日	太田公民館 東別館		
合計			1,862 人	

資料 2

ボランティア参加者

会場	年月日	第38回 H28年2016 6/12木田会場	2017/7/17 報告会	第39回H28 年20169/25 宇都宮演生会	10月20日	第40回H28 年201611/6 信濃病院	11/27結果 報告会	第41回H28 年201611/20 あおぞら診療	12/18結果 報告会	第42回H29 年201612/29 埼玉協同	2017 2/19 浦和パルコ	
医師		6	2	3		6	2	6	2	5	2	34
弁護士		2		2		5				5		14
司法書士		2		2								4
行政書士								1				1
MSW・PSW		1				13	2	10		9	1	36
薬剤師		1	1	1								3
保助看護師		7	2	5		12	3	7	1	8	2	47
検査技師						5				1		6
公衆衛生士						1						1
理作言語療法士						2						2
その他							2			5 (HP事務)		2
小計		19	5	13	0	44	9	24	3	28	5	150
通訳								15				15
英語		2	1	6		5	1		1	4	3	23
ポルトガル		3	1	1		1				3		9
スペイン			1	2		3	1		1			8
ハンブル		1		3		1				3	1	9
中国		1		1		2			1	3		8
ベトナム		2	3	1		1						7
タイ				3		1				1		5
タガログ		2	1			1	1		1	2		8
ネパール		1		1		1					1	4
ミャンマー						1					1	2
タミール		1										1
パキスタン			1	1								2
アラビヤ												
ロシア										1		1
不明		1				2				1		4
小計		14	8	19	0	19	3	15	4	18	6	91
一般		28	10	19		36	7	29	6	30	5	170
受付												
案内												
広報												
駐車場												
送迎												
食堂		6										6
会計												
PC												
小計		34	10	19	0	36	7	29	6	30	5	176
総合計		67	23	51	0	99	19	68	13	76	16	417
マスメディア		1	1・1 (群大)		1(財)-1-大学1	2			2 (財団)	1 (埼玉新聞)		

会場別受診概況					
	第38回H 28/6/12 太田会場	第39回H 28/9/25 宇都宮会場	第40回H 28/11/6 清瀬会場	第41回H 28/11/20 取手会場あおぞら	第42回H 29/1/29 川口会場協同病院
受診者数 (性別)	78 (男45・女33)	31 (男10・女21)	41 (男25・女:6)	27 (男9・女8)	69 (男42・女27)
国籍 (内分別紙参照)	18	8	17	13	14
住所地	群馬42	栃木20	東京25	茨城13	埼玉46
	埼玉13	茨城3	・埼玉11	千葉11	東京14
	栃木12・	群馬4	千葉4	栃木、	千葉4
	千葉4・	埼玉1	・神奈川1	新潟、	・神奈川2
	東京3・			神奈川	不明2
	長野1			群馬各1	
平均年齢	47歳	46歳	44歳	43歳	38歳
紹介状	31通	3通	5通	13通	37通
主な訴え	高血圧・不整脈・ 血尿・慢性蕁麻疹・ 胃潰瘍・咳・ 貧血・骨折・腰痛・ 脂肪肝・肝機能・ 足の浮腫・低血圧・ 耳たれ・無月経・等	腰痛・狭心症・高コレステロール・不眠・ 糖尿病・痛風・高尿酸血症・ メニエール病・等	胃痛・手の痛み・疲れやすい・ 高血圧・痔・下腹部痛・ 甲状腺腫れ・背中かゆい・ みぞおち痛い吐血・ 難聴・腰痛・手の痛み・ 下肢の痛み・下痢・等	痛み(心臓・頭・喉・腰・胸・左半身) 動悸息切れ・食欲ない・ 乳房しこり・肝機能異常・ 貧血・肥満・便秘・ 糖尿病・喉が渇く・ 前立腺肥大・白内障・めまい・等	
健診結果	高血圧・鼠経ヘルニア・ 尿糖・腎機能異常・ 胸部X線・尿潜血・ 頸髄症・尿タンパク・ 卵巣腫瘍の疑い・ 胃潰瘍の疑い・腰痛・ 高脂血症・右眼視力なし・ 白血球数高い・等	総合判定 A : 1人 B : 1名 C : 12人 D : 1人 D2 : 9人 E : 7人	尿潜血3+1名 尿たんぱく2+1名 BM 125以上14人 血圧130以上11人 GOT標準値以上4名 GPT平均値以上3人 γ-GPT平均値以上6人・ LDL平均値以上11名 中性脂肪平均値以上7名・等	高血圧・糖尿病・ 子宮頸がん疑い・ 高脂血症・胃要精査・等	総合判定 A : 4人 B : 15人 C : 17人 D : 28人 E : 4人 F : 1人

資料 4

平成28年度 会場別国籍							
国籍		2016/6/12 太田会場	2016/9/25 宇都宮済生会	2016/11/6 信愛病院	2016/11/20 あおぞら 診療所	2017/1/29 川口 協同病院	国別 受診総数
1	トルコ	1				23	24
2	ヴェトナム	7	2			9	18
3	ネパール	8	1	6	1	5	21
4	フィリッピン	8	1	3	13	4	29
5	バングラディッシュ	7		2	1	4	14
6	ナイジェリア	3		2		3	8
7	ミャンマー			3		2	5
8	カメルーン					2	2
9	イラン	3	1	2		1	7
10	ブラジル	8		2		1	11
11	ガーナ				1	1	2
12	リトアニア					1	1
13	パキスタン	4				1	5
14	タイ		19	2	1	1	23
15	韓国	2		1	1	1	5
16	中国	1		10	1		12
17	インドネシア	2	3	1			6
18	アフガニスタン			1			1
19	セネガル			1			1
20	ペルー	14	3	3	1		21
21	コートジボワール			1			1
22	日本	2		1			3
23	スリランカ	5			2		7
24	インド	1			3		4
25	メキシコ	1					1
26	台湾	1					1
27	ウガンダ				1		1
28	コロンビア				1		1
29	キューバ		1				1
30	不明				1	2	3
	受診者数（人）	78	31	41	28	61	239
	国別数	18	8	16	13	16	

写真で見る一年間

平成 28 年 太田会場



宇都宮会場（済生会宇都宮会場）



東京・清瀬会場（信愛病院）



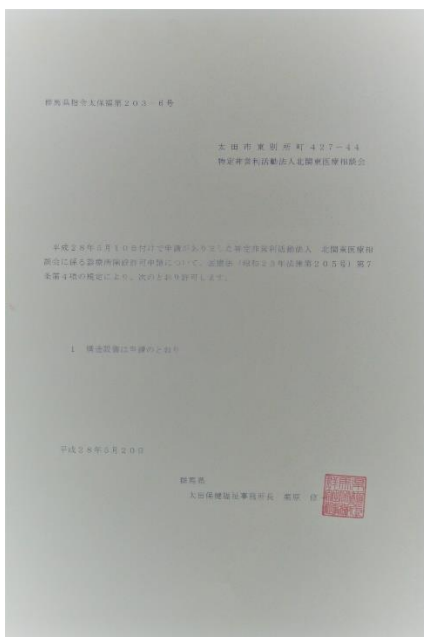
茨城県・取手会場（あおぞら診療所）



2017 年 埼玉県・川口会場（埼玉協同病院）



2016 年 太田会場開設許可証



フードバンク お米引き取り



国際交流賞 毎日新聞



信愛病院報告会



朝日新聞・茨城



埼玉新聞・川口会場



群馬県国際交流賞



東京弁護士会・人権賞

